

青森市連台会報

第2号

題字：奈良岡青森市長

愛市運動

愛市運動とは、全市民の力で、青森市を、明るく、清潔な、住みよい、豊かな街にするための呼びかけを実践することにあります。

全市民のみなさん！

愛市憲章の実践目標完遂に努力し、われわれ市民の力で、大青森市を建設しようではありませんか。

愛市憲章

昭和三十年三月制定

大青森市建設の誓い

- 一、美しい大青森市をつくらう。
- 二、明るい大青森市をつくらう。
- 三、子どもを守る大青森市をつくらう。
- 四、むだのない大青森市をつくらう。
- 五、ゆたかな大青森市をつくらう。



市民の手で 市営バスを育てよう

青森市町会連合会会長
坂本松三郎

市営バスは過去44年の永い間、市民の足としてその大きな役割を果たし、今では私たちの日常生活に欠くことのできない交通機関となっています。

しかしながら、近年の著しい社会経済の伸長に伴って、諸物価の値上り、人件費や資材費などの経費がかさみ、また道路交通の渋滞により、予定通りの運行ができななどの理由で、経営が年々悪化、昭和43年度までで約3億円の赤字となり、市営バスの経営もあやぶまれる状態となっています。

このため交通部では、今までの悪化した経営を再建するために、職員の手当を減らしたり、ワンマンカーを採用したり、また政府から安い利息の資金を借りて、経営資金にあてたりして企業の合理化をはかり、昭和41年度から昭和48年度までの8ヶ年計画で、企業の再建を計ることに努力してま

その一貫として今回バス料金の値上げを実施しました。これについて市民の不満の少なくないことは当然ですが、また、再建のための一措置として止むを得ないことと思えます。

更に今後、市営バスの運営をどのようにしたらよいかなどの基本的な方針について、市民各層の意見を聞き、これを経営に反映させるため市営バス運営審議会を設けて、その方策を検討しています。

このように、交通部では企業の再建にいろいろ手をつくし、努力しているにもかかわらず、経営は容易に好転していない実情です。

都市交通の経営が悪化しているのは、単に青森市だけではなく、全国的な傾向であるといわれていますが、「市営バス」の再建問題は、交通部のみの対策には限度があると思われ、何んとしても利用者である私たちが深く理解し、積極的に協力することによって、は

利用人員と収入

20,000人×365日＝	7,300,000人
60円×7,300,000人＝	438,000,000円
10,000人×365日＝	3,650,000人
60円×3,650,000人＝	219,000,000円
5,000人×365日＝	1,825,000人
60円×1,825,000人＝	109,500,000円
3,000人×365日＝	1,095,000人
60円×1,095,000人＝	65,700,000円
2,000人×365日＝	730,000人
60円×730,000人＝	43,800,000円
1,000人×365日＝	365,000人
60円×365,000人＝	21,900,000円

じめて経営の危機を脱することができると確信するものです。現在市営バスの利用人員は一日平均8万人となっていますが、このころみに運行回数を従来どおりとして、利用人員が一日平均5千人増え、40区間を往復したとすれば、年間約一億四千万円の収

入が増えることになり、3億円の赤字も3年足らずで解消することにあるわけです。従って私たち市民が一人でも多く、市営バスを利用することが先決だと考えます。このことにより、市営バスは経営の危機を脱し、「市民の足」として大きく成長、発展するにちが

いありません。それがまた私達市民の福祉向上に直結されます。よって今後市営バスには更に一層サービスの向上に努めてもらい、私たちも、こぞ市営バスを利用していきましょう。ではありませんか。

青森市町会連合会の沿革

一、はしがき

私達人間の生活は社会をはなれては考えられません、すなわち人間生活は社会生活であり、従って地域的な隣保組織は昔から発達してきました。日本における住民組織の歴史によると隣保組織がわが

御承知の通りであります。そして大正の中期からは町会や部落会、行政の補助的に利用されるようになり、昭和に入ってから、その傾向はますます強くなり昭和十五年内務省訓令ではっきりと行政補助機関となつてしまつたのであります。

その後戦争の拡大に伴い昭和十八年には市町村制の改正によって制度化されましたが、敗戦のため占領政策のありをうけて、全く新しい時代の環境のなかに入つたのであります。

二、青森市における町会と市政

「戦前」

本市においては、明治三十五年五月米町に町内会が結成され、その

を支

を断行することになり改組の根本をなす町会設置規程、町会規約準則、町会連合会設置規程について研究を重ね、市は町会の改組に、一歩進んで積極性を示すにいたつた。よって従来の委員会制を廃止し下部からもあがってゆく組織に改め、組長は組員のすいせんによつて決定することとし、連合会長は町会長の中から、市長は選任することとなった。

更に政府は、昭和十五年九月内務大臣の訓令を持って、部落会町内会等の整備要領を發表し都市農林を通じて、全国的に隣保組織を、整備すべき根本方針を示したので

青森市でも、国民組織の最下位である隣組を細胞とする町会を設置することとなり昭和十五年九月町会設置規則を先示町会長選挙を行つたが、これがはしなくも各町内役員勢力争いとなり、時代に逆行し旧態依然たる醜態を演じ心ある市民から、ひんしゆくをかけたものである。

当体の千葉市長はこの失敗にかんがみ昭和十六年二月町会の改組

この大綱によつて青森市は、町内会改組に乗り出し町会運営の均衡を保つため一町会最大限三百戸とし、隣組並びに町会の再編成を行なつたがその結果従来の五十八町会が、一二町会に、分割されそのおもな町会は次の通りである。

- 油川四、沖館二、昭和町二、第一古川二、三上町三、旭町三、長島三、安方新安方八、浜町新浜町二、新町三、柳町三、片岡三、新貝貝町二、貝貝町二、西部橋本七、野脇七、栄町四、古茶屋町三、造道二。



交通事故を なくするのは家庭から



交通事故防止については、行政機関およびあらゆる団体でこれが、絶滅を期して日夜防止運動をつづけておりますが、その甲斐もなく事故は、ふえる一方で防止運動はからまわりしているような感じがいたします。

その原因を私なりに考察すれば運転者も歩行者も、他力本願で即ち道路はせまいとか歩道はないとか横断歩道信号機はないなど交通環境の整備の不備のみ主唱し自らを守る即ち自己保全の精神に欠けているためではないかと思われまします。

申し上げるまでもなく交通事故防止運動は、警察や市営局等行政機関にのみゆだねべきものでなく市民一人一人は自己の生命と財産

を守るために、一步道路にふみ出したら交通事故をおこさない交通事故にかからないという観念を脳裡に植付けて行動する事が、現段階における最良の事故防止対策と確信いたします。

即ち如何に自動車、オートバイの交通がはげしくても如何に道路は狭くとも車を運転する人も歩行者人も注意して通行しさえすれば事故はさけられる筈であります。

『いそがばまわれ』という諺はありますが、昔から交通事故をいましてある言葉だと思えます。

特に現代交通戦争と申しておりますが、戦争とは敵味方その何れかが犠牲をうけるのでその意味から出た言葉だとも思えます。

いつものなれた通りでも 正しく歩いて正しい横断

「昭和45年交通安全年間スローガン」

何れもわかりきっている事ばかりであります。運転者は人を見たら、また車とあつたらあの人私の車にぶつかるとはならないかあ

の車はぶつかって来るのではないか、あのかげから老人や子供はとび出して来るのではないか等、また歩行者はあの車は私にぶつかるとは、あのかげから車は

出て来ないか等、お互に注意して行動しさえすれば必ず事故はさけられるものと確信いたします。

特に、交通三悪をおこした事などはもつての外であり、なおまた親の責任として子供は絶対に、交通事故にあわせないう日常頃のしつけと注意が肝要でしょう。

青森市町会連合会では各町内に、

交通安全班と子供を守るママの会等の結成をよびかけ、その育成強化につとめております。

また各町会の要望に応じて交通法規の説明会又は座談会等を実施し、かつまた歩行者にも、運転者にも、目につくよう町内各所に旗をたてたり、看板や塔をたてるなど

「児童を一人も輪禍にさらすことのないように最大の努力を払おう。」これが、学校長の新年度の第一声であった。

青森は、地域的に市の中央部にあり、国道四号線をはさんで学区が広がっている。交通量が多く、

児童の交通防止について (父母のよびかけ)

青森市橋本小学校 交通指導係

家の附近での事故である。まさに交通戦争の呼び名にふさわしく、しかも、その激戦地に置かれているのが本校の実情であるといえよう。

その対策としては、児童に対する交通安全教育の徹底が根幹であるが、更に、父母、地域社会の協

して両者の注意をよびおこし組織をあげて、交通事故防止に全力を傾注しておりますので何卒ご協力下さい。

みなさん、交通事故はその当事者は苦痛になやむだけではなく、一家の経済的精神的影響は甚大であります。よって前に述べたよう

輪禍が日々児童の身近に迫っている。

四年生のあるクラスの中だけでも、本人が事故にあった経験のある者が二名。家族が事故にあっている者が四名(うち、父死亡一名。)というデーターがあり、いずれも、

力を得なければならぬ。つまりは、学校、家庭、社会の三位一体による交通安全対策でなければならぬと考える。

このことは、あまりにも言いつくされ、聞かされていることで、当然なことではあるが、それでもなおかつさげばれているこの悲し

に自己保全即ち自分のからだは自分で守るという精神で、交通事故は絶対におこさない交通事故には絶対かからないという信念を市民一人一人が積み重ねて、青森市民の交通事故皆無を目標に努力しようではありませんか。

い現状を互いに反省してみたい。

学校での交通安全指導は、教育活動の全体を通じて行ない、具体的に指導し習慣化させようと努力している。

地域社会へは、安全確保のための環境整備をお願いしたい。

また、父母はもとより、おとなの方みんなに要望することは、

①交通規則を守って、まず、手本を示してほしい。

②どの子も、わが子と思って、注意してほしい。

以上の二点である。

無理するな

遠くに見えても車は速い

カッとする

心の動きが事故のもと

昭和45年交通安全年間スローガン



「お湯治の効果」

○身体の機能を若返らせませす。
○胃腸の弱い方、カゼの引き易い方、神経痛の方に...
酸ヶ湯は日本一の高地気象の転療養地です。
○年に十日間のお湯治は健康をお約束します。
○三日間の「御入浴」でも大きな効果です。



酸ヶ湯 TEL 75 2258

みらのくの上に佇む北の国に湧いた水東北を代表する芳醇の酒酒は天下のうまい酒

格調に生きる酒の白鹿酒造好適米播州・山田錦と酒・宮水のかもし出す最高の清酒

超特級 一級 特級

白鹿

秋田の銘酒

大原商店

青森市堤町二丁目一番七号 電話代 (34)8316~8

緑へのガイド 眺望山へ行こう

春です……。
 緑が我々を呼んでいます。
 かおる若葉も、
 澄んだ空気も、
 木立のさざめきも……
 さあ！
 皆んなで
 山へ出かけよう

眺望山（自然休養林）自然をこ
 わさないで森林レクリエーション
 の場所）は、市内から約22kmのと
 ころで、県道金木線が眺望山の
 入口まで通っていますので市内か
 ら車で約30分で行くことができます。
 また、国鉄津軽線および市営
 バス後潟線を利用しますと奥内駅
 で下車、待歩一時間で行くことが
 できます。

青森営林局

自然休養林整備室

室長 西村 三治

入口から「県木」に指定されて
 いるヒバの大木の間を、野鳥や動
 植物を観察しながら約2km登りま
 すと頂上に着きます。
 景観は、陸奥湾、夏泊半島、八
 甲田連峰の山々を遠くに見ること
 ができます。
 施設は、駐車場、遊歩道、キャ
 ンプ場、園地、休憩舎、便所、管
 理舎などがあります。

青森市内と言っても自動車であ
 りずか三十分で、ハイヒールの御婦
 人や御家族連れで、緑の自然にふ
 れ合いの出来る山がある、その山
 の名は、眺望山自然休養林という

便所、水飲場、自然植物園等、施
 設を整備して県民に市民の皆様
 利用して頂くために指定したもの
 である。

青森県民の森である。残念なが
 ら、バス路線が廻るまでは、国
 鉄奥内駅から、或は奥内のバス停
 留所から約三十分歩いて頂くこ
 とになる。この自然休養林は、営
 林局が、レジヤ入口の増加と要
 請に応じて、積極的にその資源を
 保健休養、レクリエーションの場
 としてこの目的のため

この施設も大半出来上り市民の
 皆様を待っている。
 自然休養林は人間と自然のふれ
 合いを目的の一つとすれば、幽源
 なる天然の森林美にあることを忘
 れてはならない。
 この特徴は、日本三大美林の
 一つであるヒバの原生林にある。
 県木でもあるこのヒバは、何百

めの適地に特殊な施
 業方針を立て、自然
 の破壊から、無秩序
 な開美から守るとと
 もに、必要な野営場、
 休憩舎、野鳥観察林、



早く！

確実に！
完全に！

株式会社

青森自動車教習所

社長 毛内 喜代秋

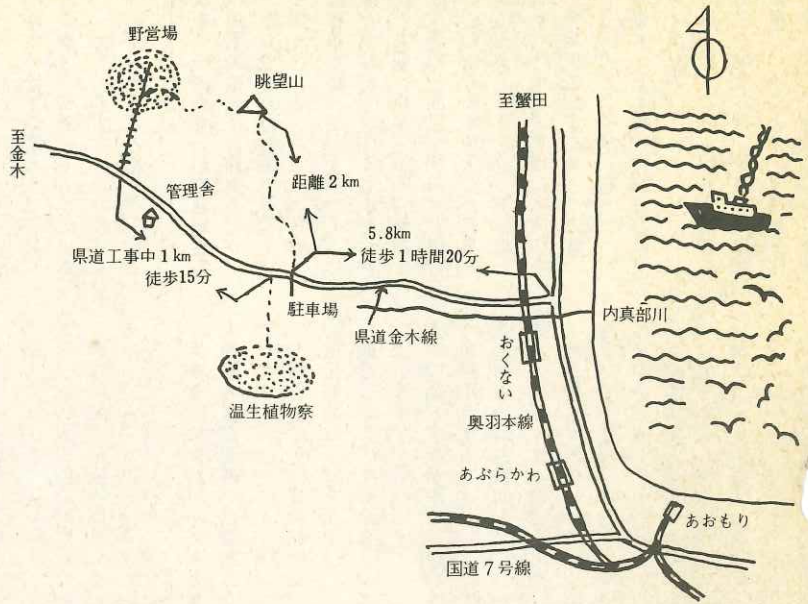
青森市大字原別字難波8 TEL 361453



年にもおよび幾多の風雪に耐えぬいたその雄々しい姿は四季、それぞれにいろいろな表情で皆様と語り合うことであろう。

ミズパショウの群落地、シダの群生地が見事で小鳥の種類も多く美しい音色は、出すそのせせらぎとともに幽寂をただよわせている。

野営場にキャンブしながらの釣



りは忘れられないところになると思う。

「梵珠山は、对象的に、ブナ、ナラ等の広葉樹で四季様々のいろいろを見せる。

霊場としても有名で、ハイキング、スキーツアとしても知られている。

また児童向きの各種施設が出来ることになっており将来が楽しみです。

現代の先進国社会では、社会の活動機能の昼夜間の区別が殆んど、なくなって居るのが実情であります。なんとすれば、生産面では、労働力の確保、労働生産性の向上を目的とする勤務態様の変化（交替24時間制）、生産コストの引下げのための設備の、24時間稼働、またモーターゼーション時代の到来、ゴールド・チエーンの発達等による、24時間輸送等、更に、これら実態に関連して、娯楽機関、休養施設、など、私達の日常生活生活は、社会活動の変化について、「夜寝て昼働く」と言う、人間古来の生活方式が変わってきました。そして、この傾向は、大都市より、地方都市へと拡大して居ります。そこで考えなくてはならないのは、そもそも人類は夜行性動物とは全く違い、太陽の恵みの光のもとでこそ、人間としての優

いた活動と、人間のみが持っている理性と道徳が、社会の基本的秩序を保ちながら現代の文明を築きあげて来たものと思います。そんな理由からしても、今申し述べた様に、社会の活動機能の変化に伴う、人間生活の24時間化にも、かわらず、正常な人間社会の維持発展をさせる為には、どうしても、「夜の太陽」が必要不可欠の条件であると思います。

従来、ややもすると、電気は動力エネルギー熱エネルギー源としては重視されて来ましたが、光のエネルギー源としては、家屋内照明を除いては、それほど重要視されなかった傾向があります。

しかし今後は、「夜の太陽」としての、街路照明の緊急性は、その地域の発展と幸福を願う、すべての人の取組ねばならない重要な課題であると思います。

街を明るくする運動に……

東北電力K・K.

青森営業所長

本間 光平

である。」

眺望山、梵珠山地区を陸線で結ぶ地域は約20kmで、中二、五米の遊歩道が出来るので、ここを廻る時は、猿の群を眺め、木の間にぐれに樹海をへだてて暗れた日には雄大な津軽平野、岩木山、八甲田山を、日本海、むつ湾を見ることが出来る。奥内から金木に抜ける近道の早期完成とバスの乗り入れに、よって市民の憩いの新しい名所になることを確信します。

オールホンダ青森

世界のナイスエスター

ホンダ1300クーペ・360

青森市堤町二丁目(野脇中向い)

TEL (34) 7501

あなたのイメージを宣伝・販売に直結させる広告代理店

APD 青森企画演出株式会社 (77) 4851 (77) 1623

春の大掃除



の通りです。

年二回の大掃除の時には、指定された場所に危険物以外はなんでも出して良いことになっていま

大きなものを買いかえるときは大掃除の直前を選べば問題はないわけです。

主婦としてその時の利用は、①電化製品は下取を出す。

顔なじみの店では心よくやってくれます。

②不安品、交換会をやっている所を利用しましょう。

③古いものは古物商

④団体に紙くずを利用する。大掃除も今月中の中頃です。

長い冬も去り湿気をはらい、気持ちよい春を迎えましょう。

○薬剤も用途用途に合わせておおいに利用しましょう。

○捨てて上手の奥様になりましょう。これは何か使

現代は使い捨ての時代それだけにゴミの量は一昔前にくらべてはるかにふえています。台所から出るゴミ紙くず、ぼろきれなどのほかに、テレビ、電気、冷蔵庫、洗濯機などの家庭電化製品、大型の家具、自動車までが、ゴミとしてどんどん捨てられていくこの頃です。清掃車が持つていかないものは全部が全部処分にかかるものです。現在、室蘭、盛岡、山形、酒田、静岡、浜松、西宮、伊丹、芦屋、広島、福岡などが粗大ゴミ収集をしています。これらの地域の奥様はもうゴミ捨て方場所を頭を痛めることがなくなってきたわけです。青森も一日も早く実施されたいものです。ゴミの粗大ゴミに限らず焼却や埋め立て地などが、現在すでにほぼ限度ということでは、いまや社会的な問題になっていることは一承知

うちに押入の中はぼろと、不必要なもので押入の中はいっぱいになりがちです。長い間保ったものや、身近かなものは、なかなか愛着のあるものです。これは子供の何かになると思いつ、なかなか手がけることもなく山になりがちです。施設に寄贈をするとか、色々有意義な方法も考えましょう。

事務局だより

○ゴミの収集

近頃ゴミの収集日でない日に、ゴミを、出して居るところを、みかけますが、犬や猫が、汚物を、散きちらし町の美化を、そこねて居り、衛生上の見地からも、よくありません。

ゴミは、必ず、収集日の朝に、出す様にしましょう。

○デリサード取扱いのお知らせ

便所の消臭殺虫剤として例年御愛用を頂いているデリサードを今年も取扱いすることになりました。

詳しいことは、四月中に町会長さんの所に書類で差上げますから、その際は、多数お申込下さるよう心からお願ひしておきます。

○火災予防

これからは、だんだん暖かくもなり、全般的にみて火気を粗末に取扱う傾向と、気象上の条件も加わり、火災多発期を、むかえます。火気に、対する注意事項を、よく守り、わが家わが町から火災を出さない様に、いたしましょう。

○書類の提出期限を厳守して下さい。

連合会の運営上必要な資料を作成するため、時折書類の提出をお願いすることがありますが、その期限が相当過ぎてもまだ提出されない町会が一部にあります。

このため事務局としては、事務の処理が思うように進まず困ることが住々にしてあります。

お忙おいことと思いますが、今後は、提出期限を厳守して下さいようお願ひします。

昭和四十五年四月二十五日
発行
発行所
青森市橋本二丁目二番七号
青森市町会連合会
(会長) 坂本松三郎
編集
青森市本町二丁目十番二号
青森企画演出株式会社
渡辺 徹郎

(消臭・殺蝨) トイレ専用防疫薬 (殺菌・殺卵)

全国市町村特納品採用薬剤

デリサード

便所を美しくする運動にご参加下さい。

一家庭に一本そなえましょう ※ 伊吹正化学工業株式会社

